

- \* 発行：憲法改悪反対共同センター <http://www.kyodo-center.jp/>
- \* 事務局：全労連 〒113-0034 文京区湯島2-4-4 全労連会館4階
- \* 連絡：Tel03-5842-5611 Fax03-5842-5620 mail：[taka@zenroren.gr.jp](mailto:taka@zenroren.gr.jp)
- \* 転送転載歓迎、各地のニュースに活用してください。

## ◆ 東京の労働組合は9条改憲に反対です！

「労働組合は9条改憲に反対です！」。東京地評傘下の労組や中立労組が12月10日夜、改憲反対を訴える集会を都内で開き、900人が参加しました。

集会を呼びかけたのは、東京地評をはじめ、出版労連、航空労組連絡会、東京土建、東京自治労連、新聞労連東京、全港湾東京、全損保東京、全農林東京など16労組。

代表してあいさつした堤敬東京地評議長は「日本国民は60年間憲法を守り、他国民を戦争の名において殺さなかったし自国民を死なせなかった。自民党政治の下で不十分ながらも国民生活の安定と平和を築いてきた」と改めて9条が果たしてきた役割を強調。そのうえで、「3年後の改憲発議」を掲げた安倍前首相が政権を投げ出して以後、改憲勢力は後退局面にありながらも巻き返しを図っていると指摘、「国民の過半数を結集し、9条を守るたかいを大いに広げよう」と訴えました。

東京全労協の押田五郎議長が賛同あいさつ。中立系労組12団体でつくる憲法労組連の嵯峨仁朗新聞労連委員長、全建総連の古市良洋書記長、全労連の坂内三夫議長が激励あいさつしました。

新聞労連の嵯峨委員長は、憲法労組連の産業を超えた取り組みを報告。「1000万署名は決して不可能ではない。戦争の最初の犠牲は『真実』であるが、マスコミ産業に働くものとして二度と戦争に協力しないためにも憲法を守る」と決意を語りました。

全建総連の古市書記長は、全建総連創設以来、初めて憲法改悪反対の署名運動をスタートさせたと報告。「戦争中、先輩は建物疎開のために自分たちの腕を使わされた苦い経験を持つ組織として憲法をまもる一点で取り組んでいる。意見の違いを乗り越えて平和憲法を守ろう」と述べました。全労連の坂内議長は、「戦後の労働運動を支えたのは憲法。憲法を守り生かす上で労働組合の果たす役割は重大であり、所属の違いを超えて憲法運動を前進させよう」と力強く訴えました。

## ◆ 御茶ノ水駅 42回目の宣伝で初の100筆

憲法改悪反対共同センターは、今年最後となる「9の日」宣伝を12月10日昼休みにJR御茶ノ水駅でおこない、民医連、新婦人、全商連、農民連、全労連から25人が参加、各団体の代表が交代でマイク2台をつないで訴えチラシ400枚を配布。憲法署名104筆、新テロ特措法署名13筆、カンパ1000円が寄せられました。

御茶ノ水駅の利用者は、サラリーマン、学生・予備校生、大学病院などへの通院客が多く、首都圏だけでなく全国から上京してくる人も多い。チラシを配布していると数人から病院の場所を聞かれることもある。静岡から来たというクリスチャン夫婦は、名刺を渡してくれ「私も9条の改憲には反対です」と署名。高校生は「社会科で憲法の学習をしています、戦争は嫌です」と笑顔で署名。50代の男性は「カンパしようか、がんばってネ」と1000円を差し出すなど、結成以来42回目の定時宣伝にして初めて100筆を超える署名が寄せられました。全労連の今井幹事は、署名に徹し、1人で27筆を集めこの日のトップとなりニンマリ。

安倍内閣から福田内閣に代わっても、国民の多くが、自民党の新テロ特措法への固執と憲法改憲の動きを注視し、危険性を感じていることが伺われる「9の日」宣伝となりました。

## ◆ 大阪 「9の日宣伝」 梅田知事候補も訴え

全府的宣伝は10日夕、京阪天満橋駅でおこなわれ帰宅途中の人が次々ビラを受け取り、計800枚を配布。署名は80名のうち、加藤秀雄さん（大教組）と宮武正次さん（大阪労連）が二人で50名分を集めました。鯨坂真さん（革新懇代表世話人）、氏家マサさん（新婦人）、藤永延代さん（大阪市民ネットワーク）、植田保二さん（大阪労連）、宮本たけしさん（日本共産党）とともに府知事候補、梅田章二さんもマイクを握り、「アメリカの国際法違反の戦争に加担するのではなく、軍隊をもたないというメッセージを世界に発信しましょう」と訴えました。戦争で父親を失ったという女性（63才）は「新テロ特措法なんて戦争の恐さを忘れてしまったんじゃないか」と話しました。

■大阪母親大会連絡会・・・「太平洋戦争開戦の日」8日、なんば高島屋前を含め6駅で「赤紙」宣伝。若い人が積極的に協力してくれ、なんばではじめて署名200名分が集まりました。参加者は全駅で133名、なんばでの1500枚をはじめ、赤紙ビラも2500枚以上配りました。

■野崎駅周辺9条の会・・・43回目の宣伝は、早朝8時から9時まで「赤紙」ビラを配りました。「9条守ろう」と大書した横断幕を掲げ、84才を筆頭に16人が参加。「過去の戦争の反省からつくられた憲法9条を守り抜きましょう」と訴えました。反応はよく、早朝なのに16人の署名が集まりました。

■太子町共同センター・・・午前10時から宣伝カーを走らせ、町内を一巡。スポット隊が元気に4回、スポットを流して訴えました。

### ■河内長野九条の会 2 駅で 100 筆以上

1 時間で 100 人以上の署名！ 11 月 19 日、三日市駅頭、千代田駅頭で、署名行動。三日市では 36 人分、千代田では 77 人分と、1 時間で 100 人をこえたのは初めての事です。寒くてハンドマイクを持つ手は凍えそうでしたが、市民の反応、関心は高く、あっという間に時間が過ぎました。「他の国とちがって、油代をとっていない。日本の給油活動はタダだから感謝されている。それは私たちの税金だ」との訴えに、「ええつ、無料のガソリンスタンドじゃないか」など、会話がはずみました。

### ■ねやがわ「憲法を守る会」

寝屋川憲法を守る会は 2004 年 8 月 9 日からはじめたナインデー宣伝（毎月 9、19、29）が、11 月 9 日で 100 回目となり、参加者は 2000 人をこえ、署名は 6000 人を突破しました。ナインデーのほとんどに参加してきた男性は、「自衛隊の撤退や沖縄戦集団自決の教科書検定の撤回など、継続が力となって、世論を動かし、政治を変えることを確信しつつある」といいます。

### ■堺・9条をまもり生かす会 760人がみました！「日本の青空」上映会

11 月 23 日、堺市内では、泉北に続き 2 回目となる「日本の青空」の上映会を行いました。事前の準備段階から、真宗大谷派やキリスト教など宗教者の方々が宗派をこえて、上映成功のために奮闘してくれました。

上映にあたっては、ボランティアの協力で字幕を作成したため、聴覚障害の方々も参加することができました。アンケートのなかには、「(聴覚障害のため) 長い間、夫婦で映画をみたことがなかった。今日はよかった」との声や、また健常者の方でも、「条文などわかりにくいところが字幕があるので理解しやすかった」など好評でした。今回の上映に取り組んできた市民団体や宗教者、市内 9 条の会などに呼びかけて、3 月 29 日には 9 条の会の呼びかけ人のひとり澤地久枝さんの講演会の成功をめざします。

## ◆ 兵庫西宮 日米開戦 66 年の日に不戦の行動

この日午後西宮勤労会館の学習会には 18 団体から 66 名が出席しました。

羽柴修弁護士（県弁護士 9 条の会事務局長）は、「9 条を守り、拓げる（生かす）ために」のテーマで講演しました。羽柴氏は、①「9 条の会アピール」賛同者増やすためにもっと創意を、②憲法 9 条の優れた内容、危険な改憲案について理解を深める無数の学習会を、③当面全小学校区に 9 条の会を、などを合い言葉に、思想・信条・社会的立場の違いをこえた「会」をつくり、ネットで交流・協力し運動を前進させよう、と語りました。

さらに、「憲法審査会は与党過半数割れで今は動きを止めているが、始動させない取り組みが必要だ」「2010 年 5 月 18 日に国民投票法が施行されることを直視し、改憲発議させない国民的情勢をつくろう」とうたえました。

このあと JR 西宮駅前での西宮母親連絡会主催の「赤紙くばり」には集会参加者も合流し

64名による街頭行動になりました。1945年に沖縄の男性が徴兵されたときの「臨時召集令状」をB5サイズの赤紙にコピーしたものを1500枚用意し、アコーディオン伴奏による合唱も加わり、「今日は太平洋戦争が始まった日です。ぜひ読んで下さい」と訴えました。通りがかりの若者達も「へえーこれが戦争に行かせる召集令状なんだ」と驚いていました。

## ◆ 長崎 教育関係者 9条の会結成 賛同 500 人

12月8日(土)、「長崎県教育関係者9条の会」の結成集会が諫早市勤労福祉会館で開催され、公立の教職員や退職教職員などを中心に約80人(公立高校27・高退教12・私立高校2・義務制10・退職者19・民間教育3)が参加しました。

「長崎県教育関係者九条の会」は、「平和への願いや思いを、多くの国民が主権者としてしっかりと意思表示しないと、再び戦争の道にすすんでしまう。お互いの立場や信条はさまざまだが、『9条だけはどうしても守らなければならない』という一点で、手を結びたい」と組織したものです。

集会では、結成を記念して東森英男さん(全日本教職員組合書記長)が、「憲法をめぐる情勢と全国教職員のたたかい」と題して講演、自民党の「新憲法草案」や「改憲手続法案」など憲法をめぐる動きにふれ、「新しい政治」をつくる運動の中心に憲法をおいてたたかおうと結びました。

結成総会では、経過報告と「申し合わせ事項」と役員候補者の提案を行い、参加者全員の承認を受けました。その後、代表世話人から「当面のとりくみ」の提案があり、参加者からは、「政党・組合の枠を超えて現職はもとより、退職者にも積極的に働きかけたい」「長崎県にこのような組織が結成されることは素晴らしいこと。ぜひ活発な会にしていきましょう」「特に公務員たる教員の場合、憲法を守る運動に参加することは『義務である』とさえ思います(憲法99条)」「入会した人に対して、とりくみの提起や会の活動の様子を伝える方法をしっかり確立することが必要」「歌声のコンサートなど、楽しいとりくみができたらよい」「波佐見焼きでネックレスやブローチはできないかしら？」など、活発な意見が交わされました。

県内で、この会に賛同する教育関係者はすでに500人を超えています。この総会を契機に、県下の学校と地域で「九条の会」をつくっていくことが確認されました。

## ◆ 全教 憲法闘争のDVDを作成しました。

全教は「憲法について学び、語り合い憲法を守り、憲法を教育に生かしましょう」と、憲法署名と「職場九条の会」のとりくみを訴えるDVDを作成した。

内容は、全教が10月27日に開いた「憲法闘争学習交流集会」での小沢隆一東京慈

恵会医科大学教授の講演、地域の署名運動、全労連の500万憲法署名と国民過半数署名運動の呼びかけ、各地の「学校九条の会」のとりくみ、福田内閣と憲法改悪、「などを収録。「楽しい憲法運動」を全国ですすめること、「新しい政治」を求めるたたかいの中心に憲法をすえることが訴えられています。

米浦委員長が「教育と憲法」との関係を解説し、教育の足場をゆるぎないものにするために憲法を生かすこと、教職員の中での憲法運動の重要性を訴えています。

全教は、DVDを職場、地域での憲法問題の学習と運動の資材として活用することを呼びかけています。(13分43秒 頒布価格500円)

## ◆ 奈良 太平洋戦争開戦66周年宣伝行動

奈良では12月8日(土)アジア・太平洋戦争開戦66周年宣伝行動を共同センターの主催でおこないました。近鉄奈良駅前赤紙と「もう二度とインド洋で戦争支援しないで!!みんなの力で新テロ特措法を廃案にしよう」のビラを配布し、470セットがなくなりました。この行動には共同センター7団体14名参加し、リレートークと宣伝・署名を呼びかけました。

### ■ 毎週30分でも駅頭に立つ シール投票で1000筆突破

大和高田市平和委員会、新婦人大和高田支部、大和高田9条の会が呼びかけ、18名が参加し、高田サテイ前で、母親大会連絡会作成の「赤紙」チラシや民医連の風船などを配布し、憲法署名53筆、ビラ400枚を配布しました。

5月からスタートした「憲法9条守るか、変えるか」の「街頭シール投票板」は、11月25日までに投票数が1000票を突破していました。25週目となった今回も1時間で88名の方にご協力いただき、ついに「9条守る」だけで目標の1000票を達成!「憲法守る」が1021票、「変える」が70票になりました。

大和高田市平和委員会は、国民投票法成立を受け、毎週30分ずつでも駅前に立とうとよびかけ、ねばり強く続けてきたことに確信を深めています。

## 短信・ホットライン

### ■ 年賀状にアイラブ9のメッセージ

年賀状の季節です。最も身近な友人・知人・親戚の皆さんに、憲法を守るメッセージを送りましょう。今回からハガキから封書に切り替え憲法署名を同封し、署名を訴えるのも一考です。